

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・暖冬の上、天候も安定している。来園者が増えた結果、飲食物販の客単価も上がっている。
		百貨店(役員)	販売量の動き	・3月に入り、来店、売上基調共に増加傾向である。衣料品、食料品がけん引している。
		その他小売 [ショッピング センター](統 括)	来客数の動き	・2016年秋から立ち上げたりリニューアルプロジェクトが終わり、館内が活性化している。若年層向け専門店がそろい、消費意欲が上がっている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・天候の影響か来客数が増えてきている。売上は来客数ほどは伸びておらず、現時点は良いとまではいえないが、今後に期待できる。
		一般レストラン (経営者)	単価の動き	・歓迎会や町内会の集まりなどの宴会が入ったほか、月半ばまでは来客が増えている。
		都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・宿泊は、2月に引き続き3月も過去最高を記録しそうな勢いである。料飲は宴会予約の動きが若干鈍くなっており、全体では、やや良いといったところである。
		旅行代理店(所 長)	来客数の動き	・行楽シーズンに向かい、国内旅行者は今一つではあるものの、外国人旅行者の来訪数は増えてきている。
		通信会社(総務 担当)	販売量の動き	・3月は年間で1番販売が伸びる月である。前年比では3割減少しているの、喜べない。
		設計事務所(所 長)	競争相手の様子	・年度末でもあり、建設関係は特に忙しい。それに伴って、関連業者も忙しくしている。
		商店街(代表 者)	お客様の様子	・来客数が前年比80%と店頭販売が減っており、外商の売上で落ち込みを少なくする状況が続いている。今後こうした状況が続くことはあり得る。
		一般小売店[精 肉](経営者)	お客様の様子	・早く暖かくなってほしいが、お彼岸までは寒い日の方が多く、人の動きは余りない。大型店で1日過ごす人は多いが、荷物は余り持っていない。我々個人店はなかなか客に来てもらえない。
		百貨店(営業担 当)	販売量の動き	・食品大型物産展など、食の提案に対するレスポンスは好調なもの、依然としてアパレルを中心としたファッション関連は、苦戦を強いられている。
		百貨店(営業担 当)	販売量の動き	・イベント開催週などは集客、売上共に好調だが、1か月で見ると芳しくない。全体では3か月前と変わらない。
		百貨店(店長)	来客数の動き	・全館でみると買上客数は前年並みだが、天候の影響か衣料品や理美容は低調である。業種によって好不調がまだら模様である。
		スーパー(商品 部担当)	単価の動き	・客単価の落ち込みが続いている状況は変わらない。特に生鮮、青果物の単価下落が大きい。
		衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・客の様子自体は、今までとさほど変わらない。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・以前なら3月は、企業決算に合わせて代替車や新卒者の通勤用の新規購入などで、ある程度の販売台数を確保できていた。最近では、企業も乗れる間は乗り、新卒者は車に興味乏しい。営業努力によって3か月前を維持している状況である。
		乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・ここ2~3か月、新車、中古車の販売、車検、定期点検の販売量が全く横ばいである。悪くもなく、極端に台数が増えているということもないので、低い状態のまま推移している。
		住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・寒暖の差が激しく、春に向けた商材の動きが良くない。特に、週末に天候が崩れることが多く、来客数のマイナスにつながっている。
		その他専門店 [靴小売業] (経営者)	販売量の動き	・相変わらず、景気は悪い状態で続いている。特に、生活防衛なのか、客が単価の高い良い物を買わなくなってきている。
	スナック(経営 者)	お客様の様子	・平日の客の動きが悪い状況が続いている。閉店する同業者が増えている。	

都市型ホテル (営業)	来客数の動き	・宿泊は順調に入っているが、稼働率は80%ぐらいである。宴会がやや伸び悩み、ホテル全体で考えると変わらない状況にある。
旅行代理店(経営者)	単価の動き	・2019年上期の宿泊プラン代金が全般的に上昇している。
タクシー運転手	お客様の様子	・今月は送別会の時期で、タクシーの利用客が増えると思っていたが、月初めは全く増えず、中旬頃から週末だけは、多少増えたものの、21時頃の早い時間帯までで、深夜の客が少ない。売上も10%程度止まりである。
タクシー(経営者)	お客様の様子	・昼の動きが少し良くなったので、前年同月と比べて3%の増収である。
通信会社(経営者)	販売量の動き	・3月の年度末も、新たな大口受注もなく過ぎている。月を追うごとに、受注難が進んでいる。
ゴルフ場(総務担当)	来客数の動き	・来場者数は、前年同月比で11月はマイナス431名、12月はプラス227名、1月もプラス215名と推移している。3か月平均では前年と変わらない。前年は悪天候によるクローズ日も発生していたが、今年は天候に恵まれクローズもなく推移している。
競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、ほとんど変化がみられない。
住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・今月は各社の人事異動が多いために、アパート、マンション等の引き合いや成約が多かった。ただ、店舗等は動きが全くない上に新店企業もないので、依然として、店舗関係の空室が多い。
コンビニ(経営者)	来客数の動き	・近隣の工事現場等が完了し始めて、職人の来客数が減ったため、やや悪くなっている。
コンビニ(経営者)	単価の動き	・来客数は変わらないが、客単価は1人当たり751円と、前年比マイナス20円で推移している。値上げ商材が多いなか、より安い商材へのシフト、銘柄変更などがみられる。特に、たばこに表れている。高額付加価値品と低単価品への二極化の傾向がみられる。
衣料品専門店(販売担当)	来客数の動き	・悪い状況がずっと続いている。それも少しずつ悪さが増しているというか、かなりひどい状況になってきており、客が本当に出てこない。あの手この手を使って誘客には相当力を注いでいるつもりだが、それでも客は出てこない。相当難しい状況に追い込まれている。
家電量販店(店長)	販売量の動き	・新生活商材が例年より厳しい。
乗用車販売店(販売担当)	お客様の様子	・例年3月は忙しくて仕方がないが、今年に限っては非常に悪い。販売量もちろんだが、客の様子がいつもと違っている。あちこち歩いて見比べていて、なかなか決めてくれない。今までになかったことである。
自動車備品販売店(経営者)	販売量の動き	・今までの年度末に比べて、販売量が非常に少なく、車の販売台数も少ない。自社の営業努力が足りないところもあるが、いろいろと客が動揺していると感じる。値段に敏感になったり、車を買うタイミングがずれ込んだりして、なかなか販売が通常に至らない。
その他専門店[燃料](従業員)	販売量の動き	・販売が減少してきており、受注も減少している。
その他飲食[給食・レストラン](総務)	お客様の様子	・新年度の新規受託先数は高水準を継続できたものの、スタッフの確保難が重しとなっている。業種、社員数、エリア、提供時間等により選別をせざるを得ず、業界内で住み分けが進んでいくのではないかと。
都市型ホテル(営業担当)	販売量の動き	・ホテルを3棟運営している。3月はそれなりに期待していたが、県央、県北の2棟の稼働は若干落ち込んでいる。県南のホテルの稼働は良いものの、全体では思ったよりも落ちている。企業の出張や研修などの時期だが、企業景気が少し宿泊に影響しているのではないかと。
旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・客は内向きな感じがしており、余り出歩きたがらない。

	タクシー（役員）	お客様の様子	・人手不足と働き方改革の影響で、やや悪くなっている。
	通信会社（社員）	来客数の動き	・年度末になり慌ただしいが、売上は伸びていない。
	通信会社（局長）	お客様の様子	・当社のテレビ、インターネット、電話の加入獲得は増えている一方、支払の滞っている客が3月になって増えてきている。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・7年目に入った円安誘導政策での物価上昇率2%の実現は、困難のようである。国際収支の構造変化で、円高にはなりにくく、給料が上がっても将来不安で、消費には回らない。
	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・県内景気は商工業を見る限り、下降を続けている。消費も不発で、3月の繁忙期も僅かだが前年割れをしている。客の財布のひもは固く、浮上の兆しはみえない。
	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・消費税増税の影響で、客が買い控えや買い急ぎの動きにほんろうされている。結局、結論は先延ばしになっている。
	x	*	*
		*	*
企業 動向 関連 (北関東)	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏から秋にかけて立ち上げ予定の量産案件が増えてきている。そのための打合せや試作対応に追われている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年と比べて、月の売上が10%ほど各月共に伸びている。ただし、多少の不安要素もある。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車の北米販売が87か月連続で、前年超えとなっている。
	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・売上の95%を公共工事が占めているが、現政権誕生後、公共工事は順調に推移、今期も前年比15%増となっている。特に、地方業者に一番直結する市町村関連の発注が前年比21%増となっており、当社受注も前期比10%増である。ただし、10年来の建設業不況があったため、今でもボーナス支給は十分にできていない。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末で駆け込み受注も多く、販売量が増加している。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・季節的要因で忙しく推移している。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・この1～2か月は取引先の様子や受注、販売等の動きが若干鈍くなっており、やや良いとやや悪いの間くらいで、変わらない。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・新年度商材、白物家電や寝具、また、収納ラックなどの生活用品は前年並みの物量依頼である。さらに、気温が高めなこともあり、夏物家電であるエアコンなどの初回発送は例年より早く、月末にかけて入っている。車両不足もあり、輸送量に対する運賃の高騰やよう車費の高騰など、荷主負担も増えている。
	不動産業（管理担当）	取引先の様子	・取引先から「建物内の設備更新があるので立会業務を依頼したい」という話がある。年度内予算に少し余裕があったため、急ぎで年度内に行いたいとのことである。立会いに関する人件費を請求できるため、当社は若干の売上増にはなっている。ただし、社内で使用しているパソコンの一部で更新があったため、それを加味すると利益的にはプラスマイナスゼロである。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・中小の販売業、飲食業などは、大きな盛り上がりがない。中小製造業もさほど動いていない。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・景気は少し後退し、落ち込むのではないかと懸念があったが、身の回りでは余りそう感じない。横ばいで変わらないくらいのところで推移している。
	社会保険労務士	取引先の様子	・相変わらず、小売業などは苦しい状況だが、輸出に関わっている中小企業も、勢いがなくなっている。

		食料品製造業 (経営者)	取引先の様子	・最近の株価の低迷や消費税増税への懸念が早くも影響しているのではないが。
		化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量が予想を下回っている。
		建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注量が予想よりも、はるかに少ない。
		広告代理店(営業担当)	取引先の様子	・中価格帯の物販が特に悪く、年度末の販促広告の出稿状況も悪い。
	×	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・3～4月の取引先の受注状況が芳しくないようで、生産調整をするとの情報が流れている。
雇用 関連 (北関東)		人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・卒業、卒園、退職等の時期でもあり、衣料品等や贈答品等に使われる置物などの記念品や消費する食品関係のバック類詰め合わせギフト商材の動きが活発にみられている。当然、人の動きに伴って、物流関係も引っ越し等の要員募集が活発に見受けられている。ガソリン、灯油価格が若干上がりつつあるようだが、今月は活発さが多少見受けられる。
		学校[専門学校] (副校長)	雇用形態の様子	・事務職であっても、雇用形態がパートや契約社員等では全く応募がない。雇用の安定を考えている傾向が求職者、保護者共につかえる。
		人材派遣会社 (経営者)	周辺企業の様子	・現状、仕事が暇なところはなく、忙しいところは変わらずに忙しい。
		人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・相変わらず、正社員希望の求職者が多いものの、企業の求める人物像とのギャップがあり、採用に至らない。また、内定が出ても併願を理由とした辞退者が多い一方で、派遣希望者は特段増加していない。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・有効求人数、有効求職者数の3か月前との比較や前年同月比でもみても多少の増減はあるものの、ほぼ変わらない状況である。有効求人倍率も同様である。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・3か月前と比べて、新規求人数は6.6%増加、有効求人数は21.4%増となっている。有効求人倍率は0.78ポイント増加し、2.78倍である。
		職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・力のある企業はどんどん良くなっていくと思うが、その一方で、経営悪化により突然の倒産や民事再生法の適用を受ける企業も多い。そのため、一概に上向きかといわれるとそうでもないようである。
		人材派遣会社 (管理担当)	採用者数の動き	・派遣社員の採用は、年々減少している。中途退職後、派遣社員へ移行する型が確立している。
	×	*	*	*